

1. 件名：日本原燃株式会社との新規制基準適合性審査の進め方等に関する
面談

2. 日時：令和元年12月6日（金）15時00分～15時20分

3. 場所：原子力規制庁 原子力規制部長室

4. 出席者

原子力規制庁 市村原子力規制部長

原子力規制部

長谷川安全規制管理官（核燃料施設審査担当）

核燃料施設審査部門 藤田安全審査専門職

日本原燃株式会社

藤田 執行役員 燃料製造事業部副事業部長 他1名

5. 要旨

日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、同社のMOX燃料加工施設（以下「MOX施設」という。）の事業変更許可に係る新規制基準適合性審査について、年内の審査会合の開催可能性について、問い掛けがなされた。

原子力規制庁から、以下のとおり返答した。

- 日本原燃からは、MOX施設に係る申請に加えて再処理施設に係る事業変更許可申請がなされており、日本原燃の意向を踏まえ、再処理施設に係る審査を優先して実施しているところであり、再処理施設に係る審査の進捗を踏まえた上で、MOX施設に係る審査に着手する旨合意していると認識している。
- 再処理施設に係る審査においては、日本原燃により、今秋以降、冷却塔の新設に係る設計変更や臨界事故に係る重大事故等対策の変更がなされるとともに、まとめ資料の作成等に時間を要しているところ。これらの点について審査の一定の目途が立った時点で、MOX施設に関する審査会合を開始するものと考えている。
- 日本原燃においては、再処理施設に係る審査の議論を踏まえ、必要な論点の取り入れや説明の仕方の整理・工夫、まとめ資料の準備等、MOX施設に係る審査が効率的に実施できるよう必要な準備を進めておいていただきたい。

日本原燃から、認識は同様であり、再処理施設の審査における指摘事項等を適宜反映しつつ、準備を進めている旨の説明があった。

6. その他

なし